



鹿児島国際大学生プレゼンツ

もっと知りたい！かごしま錦江湾 サマーナイト大花火大会の魅力

九州最大級の花火大会で毎年10万人以上の人々が訪れる「かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」。その最大の魅力である“花火”について、鹿児島国際大学生のかごしま市民のひろば編集サポーターが取材してきました。

かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会【サンサンコールかごしま☎099-808-3333】
かごしま市民のひろば編集サポーター【広報課☎216-1133】

日時：8月19日(土)
19時30分～
場所：鹿児島港本港区
詳しくは5面をご覧ください

サマーナイトで上がる2尺玉は
こんなに大きーい！！



直撃取材 in 花火工場

手間と時間をかけて作られている花火

花火の命「星」

まず、見せていただいたのは、花火の命ともいべき「星」を作る工程。「星」は、火薬や発色する薬剤などを配合して作られるもので、花火が開いたときに一つ一つが花火の花弁になります。

「星掛け機」といわれる専用の機械で薬剤を少しずつ丸く固め、天日で乾燥させる作業を何日も繰り返して作り、1日にわずか1mm程度しか大きくならないそうです。



星掛け機



乾燥作業は、天候にも左右されます



この大きさになるまでに2、3カ月もかかります

花火は一つ一つが手作り

次に、「星」は、導火線などの部品と一緒に「玉皮」といわれる器に仕込まれます。その後、小麦で煮たクラフト紙を貼り付ける「玉貼り」が行われます。この「玉貼り」は、花火の種類や大きさで貼る枚数が変わってきます。2尺玉は、「星」作りから「玉貼り」まで半年もの時間をかけて作るそうです。一瞬で消えてしまう花火は、たくさんの人たちが手間と時間をかけ、一つ一つ手作りされているんですね。



大きさや色の異なる「星」を仕込んでいきます



玉皮に一枚ずつクラフト紙を貼り付けていきます



錦江湾があるからこそ見られる2尺玉

2尺玉の直径はなんと60cm！重さは70kgもあるそうです。

2尺玉は500mほど打ち上げられ、直径約480mにもなる大輪を咲かせます。2尺玉を打ち上げるには、観客の安全を確保するため、周囲に300mの保安距離を取る必要があります。

山や川原では打ち上げられない、目前に海があるからこそ打ち上げられる2尺玉花火は、サマーナイトならではのものです。



打ち上げるためだけでも3.5kgの火薬が必要なんです！

…こっせーい

2尺玉はこんなに高く、大きく上がります！



安全に楽しんでもらうために…

毎年、本大会を開催できるのは、大きな事故もなく無事に大会を終えられているからこそ。当日は、市の職員や警備員など約900人のほか、警察や海上保安部など多くの人たちにご協力いただき、会場などの警備にあたります。

また、打ち上げ場所が海上なので、船会社に船を停泊する時間や場所を変えていただいたり、大会翌日に約1000人ものボランティアの人たちに会場を清掃していただいたりしています。

多くの人たちの協力のもと、安全で楽しい大会の運営に努めています。当日は交通规则やごみの持ち帰りなどマナーを守って観覧していただけると嬉しいです。



早朝からたくさんの人たちに清掃していただいています



観光振興課 満端圭章



花火師に聞きました

打ち上げ花火の楽しみ方



㈱大洋花火 原口営業部長に聞きました

世界に誇る日本の花火

夏祭りには欠かせない打ち上げ花火。花火はさまざまな大きさや形、色の火薬の組み合わせによって何十万通りにも作ることができます。

球体に開く打ち上げ花火は、日本では見慣れたものですが、実は、海外ではなかなか見られないものです。ほかにも、色が途中で変わったり、二重、三重に開いたりする、日本の技術だからこそ作ることのできる精密な花火は、「世界一きれい」といえる自信があります。

今年の大会はここを見てほしい！

今年の目玉は、何といっても九州初の2尺玉4発同時打ち上げです。また、本大会初となるフルカラーレーザーを使った音楽花火では、来年の明治維新150周年などを盛り上げる演出を行うほか、かごしま水族館の開館20周年を祝い、魚の型物花火が打ち上げられます。

花火のツウな楽しみ方

打ち上げ花火は、一つ一つに呼び方があります。打ち上がったときの形で菊や牡丹、色で紅(赤色)や錦(金色)などの名前を付けています。また、空に上がるときに、しっぽのように見える「昇り竜」や「ヒュルルルル〜」という音がする「昇笛」は、花火玉のアクセサリーみたいなものです。花火の名前を知ると、今までと少し違った見方ができて楽しいですよ。



この“型”に星を並べると魚型の花火に！



今年は魚たちが花火になって錦江湾から夜空に飛び出します！



花火玉は見た目が同じなので名前を書きます

会場で花火の名前を言いながら見れば、周りに注目されること間違いなしですよ！



彩色千輪菊



紫芯銀冠菊



椰子入紫千輪菊



紅牡丹(椰子星入り扇打ち)

鹿児島を離れても、また見に帰ってきてほしい

私たちは、「家族や友人、恋人と花火を見て、大切な思い出にしたい」と思いながら、心を込めて花火を作っています。いろいろと大変なこともありますが、打ち上げた花火に歓声が上がり、無事に大会を終えられたらそれまでの苦労がうれし涙に変わります。



たとえ鹿児島から離れたとしても、かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会の花火を忘れず、「また見たい」と思ってもらえるよう、一瞬の大輪を美しく咲かせていきたいと思っています。



かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会は、多くの人たちに支えられていることがわかりました！この夏は会場でサマーナイトの大迫力を体感しましょう！